

甲子川
市議会
広報

No.7 2007年7月31日号



シリーズ③「甲州市 市民憲章」
今回のテーマ…「自然と環境を大切にし、美しいまちをつくります。」

**全校児童が通学路のごみ拾い
環境美化について考え
ボランティア精神を培う児童たち**

東雲小学校では、児童会主催で通学路のごみ拾いを実施しています。毎月1回、子どもたちは各家庭から袋をもってごみを拾いながら通学します。6年生の加々美真由さんは「6年間、通学路のごみ拾いを行ってきました。通学路がきれいになって気持ち良かったです。東雲小学校の伝統行事として、今後も続けて欲しいです」と話していました。

児童会の重点目標であり、伝統行事となった月例清掃は、自分たちの手で通学路をきれいにすることによって、環境美化について考え、ごみを捨てない、少なくする、またボランティア精神が培われることでしょう。

シルクへの庁舎移転に向け 土地開発公社の債務負担行為補正を可決

平成十九年甲州市議会六月定例会は、六月十五日から七月二日までの十八日間の会期で開かれました。条例案や平成十九年度一般会計補正予算案（第一号）など二十件の事件が提出され、すべての事件を原案のとおり可決、同意しました。（付託事件の審議内容については、委員会レポートを参照）

なお、一般会計補正予算案については、土地開発公社の事業資金の債務保証及び平成十九年度以降の事業用地の先行取得についての債務負担行為補正に異議が出され、討論・採決の結果、賛成多数で可決されました。審議の内容を要約してお伝えします。

塩山B&G海洋センター 指定管理者制度を導入へ

◆甲州市病院事業の設置等に関する条例制定について

等に関する条例制定については、国において指定管理者制度を導入する場合で、利用料金を指定管理者の収入として收受させることにより、

も、地方財政措置を講ずること改められたことにより、市立勝沼病院に指定管理者制度導入前に受けていた地

方財政措置を引き続き受け

るため、あらためて病院事業を設置し、地方公営企業法上、必要な規定を定める

必要があることから制定するもので、可決しました。

◆甲州市財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部を改正する条例制

定については、地方自治法の改正により、行政財産で

ある土地を貸し付けること

ができる法人を定めた規定が移動したことに伴い、条例の該当規定の整備を行う必要があるため制定するもので、可決しました。

◆甲州市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定については、国會議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律の一部を改正する法律により、投票所経費、開票所経費及び事務費等の基準額について、積算基礎である報酬の基準額が改定されることにより、本市もこれと同額とするよう、改正が必要であることから制定するもので、可決しました。

◆平成十九年度甲州市勝沼病院事業会計予算について、事業収益、事業費用をそれぞれ二千九百二十四万一千円とするもので、可決しました。

◆平成十九年度甲州市一般会計補正予算（第一号）については、歳入歳出それ八千四百八十八万五千円を追加するもので、主な内容は、歳出については、衛生費へ勝沼病院事業会計繰出金など五千三百七十九



指定管理者制度導入のための条例改正が行われた甲州市塩山B&G海洋センター。移行後のサービス向上への取り組みを期待したい。

議案の審議



慎重審査の結果、すべての事件を可決した6月定例会。

新議長に 佐藤栄也議員が当選 各常任委員会の正副委員長も交代

正副議長選挙が行われました。
新議長は選挙の結果、佐藤栄也議員（六五、勝沼町上岩崎）が選ばれました。議長選挙の開票結果は次のとおりです。（投票総数二十票）
◆議長選挙 当 佐藤栄也 十八票 次 矢野義典 二票
【委員会構成】（◎委員長、○副委員長、年齢順）
久 田邊民男 廣瀬宗勝 古

◆総務常任委員会
○原勝 ○武藤雅美 廣瀬元
元久 廣瀬宗勝 岡武男 平
根益彦 廣瀬重治 丸山国一
桐原正仁 曾

◆議会運営委員会
○廣瀬一 ○桐原正仁 都倉義
男 平塚義 古屋匡三 廣瀬一
矢野義典 桐原正仁

◆建設経済常任委員会
○曾根益彦 ○廣瀬重治 都倉義
男 平塚義 古屋匡三 廣瀬一
矢野義典 丸山国一

◆天目・嵯峨塩・焼山沢一帯における携帯電話の通信に関する決議を議決しました。これは、携帯電話の使用ができる地域の天目・嵯峨塩・焼山沢一帯において、緊急時の通信網確保のため、携帯電話の送受信用鉄塔の建設促進を、市が推進することを支援するものです。

◆滑沢山恩賜県有財産保護組合議員十一人、また深沢山恩賜県有財産保護組合議員一人の補欠選挙も行われ、指名推選により当選しました。

ました。

■反対討論 野尻陽子

土地開発公社がシルクの土地・建物・駐車場を五億六千万円で買うための債務行為に補償を与えることであるが、シルク買収問題について、検討が尽くされたとは言いがたい状況である。例えば、シルク東側駐車場の購入が必要か、また土地開発公社による先行取得は、税の消滅など市の財政に損失を生じさせることが考えられる。厳しい財政状況の中、いかに賢く市の台所を

切り盛りするか、行政と議

会の手腕が問われているなかでの拙速な結論は時期尚早だと考え、反対する。

■賛成討論 廣瀬元久

シルク東側駐車場用地購入費については、一平方㍍当たり平均五万三百十四円で不動産鑑定士による算定内容と一致している。また、再三にわたる交渉の結果、不動産鑑定士の算定額から約三十㍉減で土地、建物を併せて総額五億六千万円で先行取得するものであります。議会においては、既に半年以上もまちづくり等調査特

別委員会で審議、検討され

た。今定例会で、総務常任委員会へ付託された案

竹森地区土地改良事業計画を変更

審議時間が足りないと考え、賛成する。

■採決結果 賛成十八（都

倉義男、廣瀬元久、田邊民男、廣瀬宗勝、岡武男、曾根益彦、平塚義、古屋匡三、古屋久、夏八木盛男、廣瀬一、廣瀬重治、原勝、矢野義典、丸山国一、武藤雅美、桐原正仁、中村勝彦） 反対一（野尻陽子）

峡東地域ごみ処理施設事務組合が設置され、新たなごみ処理施設建設に向け事業が推進されることに伴い、当組合の共同処理する事務から、ごみ処理施設の設置、管理及び運営に関する事務を廃止するもので、可決しました。

◆神金財産区管理委員の補充選任が行われ、古屋信義氏（七四、塩山上萩原）を選任することに同意しました。

◆東山梨行政事務組合規約の変更については、甲府・

携帯電話に関する決議を議決

信に於ける決議を議決しました。これは、携帯電話の使用ができる地域の天目・嵯峨塩・焼山沢一帯において、緊急時の通信網確保のため、携帯電話の送受信用鉄塔の建設促進を、市が推進することを支援するものです。

委員会レポート

committee

report

総務

今年度末での進行率は六十六・四セグヘ



近代産業遺産整備事業の一環として整備された大日影トンネル。8月29日に開通式が行われる予定である。

六月定例会において、総務常任委員会に付託された事件は六件。六月二十八日に第一会議室で開催し、すべての事件を可決すべきものと決しました。審議の内容を要約してお伝えします。

■甲州市税条例の一部を改正する条例制定について

問 市民税における五年間の特例措置を一年間延長した理由は。

答 税務課長 国が法改正で延長するので、条例改正するものである。

■平成十九年度一般会計補正予算(第一号)

問 財産売払収入の場所と単価を伺いたい。

答 財政課長 菅田神社の四つ角南側で、一平方メートルあたり七万三百円である。

問 児童福祉費の県補助金は全額廃止なのか。

答 財政課長 県は今年度廃止したが、市は半分出度廃止があり、来年度は市も廃止したいと考えている。

問 合併特例債の今後の見通しはどうか。

答 財政課長 減る部分もあるが、実質公債費比率のこともあるので、基金の特例債も活用し、現状の予算を組んだ中でやつていきたい。

問 自主防災組織育成事業の補助金はどこから支えられるのか。また、これらも申請できるのか。

答 総務課長 財團法人自治総合センターからの補助金であり、申請は一県当たり四団体と限られている。

問 シルク買収に係わる債務負担行為補正の五億六千万円の内訳を伺いたい。

答 財政課長 シルク建物の敷地が二億三千八百万円、東側駐車場が八千七百万円、建物が二億三千五百萬円で、消費税込みの金額である。

歳出

千万円の内訳を伺いたい。

答 財政課長 シルク建物の敷地が二億三千八百万円、東側駐車場が八千七百万円、建物が二億三千五百萬円で、消費税込みの金額である。

歳入

問 情報化推進費の財源

答 財政課長 シルク建

物の敷地が二億三千八百万円、東側駐車場が八千七百

万円、建物が二億三千五百

万円で、消費税込みの金額

である。

問 近代産業遺産整備事業の進行状況と、現在の事業内容を伺いたい。

答 財政課長 宮光園修復工事、トンネル内で明設置工事、トンネル内の管理用、救急用の二人乗りスクーターの設置などを実施している。今年度末で進行率が六十六・四%になる予定である。

教育民生

妊婦検診の公費負担

二回から五回へ拡充

教育民生常任委員会に付託された事件は、条例案や予算案など合計四件。六月二十六日に第一会議室で開催し、すべての事件を、可決すべきものと決しました。

問 審議の内容を要約してお伝えします。

■甲州市病院事業の設置等に関する条例制定について

問 法律が変わったといふ解釈で良いのか。

答 勝沼地域総合局長 国の通達で、以前の指定管理者制度では、公営企業を廃止しなければならなかつたが、公営企業でなければ地方財政措置が講じられな

いと、国において改められたため、制定するものである。

■甲州市B&G海洋センター設置及び管理条例の一部を改正する条例制定について

問 指定管理者制度導入ができる条例改正だが、多くの企業が応募できる体制づくりが必要ではないか。



国産ワインの普及、啓発のため2月に実施した甲州市勝沼ワインセミナー。今年度は甲州ワイン普及事業として「ワインで乾杯」事業が実施される。

建設経済常任委員会に付託された事件は、一般会計補正予算案など合計二件で、六月二十六日に第一会議室で開催し、すべての事件を可決すべきものと決しました。審議の内容を要約してお伝えします。

■平成十九年度一般会計
□農林水産業費
問 有害鳥獣対策費の具体的な内容を伺いたい。
答 農林商工課長 電気

■平成十九年度一般会計
□衛生費
問 ワイン振興費の普及事業の内容は。
答 農林商工課長 ワイ

柵を個人が設置する場合の補助であるが、五万円の範囲内で事業費の二分の一を補助する予定である。平成十九年度の平均単価は三万八千円であり、平均四万円の四十人分、百六十万円を計上した内容である。

■平成十九年度一般会計
□商工業費
問 トンネルワインカード撤去した枕木の焼却について、他の使い道などの検討はどうか。
答 観光課長 枕木の防腐剤に使用されているクレ

建設経済

甲州ワイン普及事業として「ワインで乾杯」事業を実施



定期的に行われているマタニティー教室。7月から妊婦健診の公費負担が2回から5回に拡充された。

今後の日程を伺いたい。

答 スポーツ振興課長

インターネットなどで公募を行い、七月に要綱を作成し、八月に募集する予定である。募集期間は約一ヶ月、十一月には選定業者と仮協定を行い、一月には協定の締結を予定している。

問 より良い運営ができる業者選定をお願いしたいがどうか。

答 スポーツ振興課長

民間導入により、利用者ニアズにあつたサービスの向

上に努めていきたい。

問 勝沼B&G海洋センターについても、指定管理者制度を導入するのか。

答 スポーツ振興課長

中学校の授業で利用しているため、困難である。

■平成十九年度一般会計

□民生費

問 活字文書読み上げ装置七台の設置場所はどこか。

答 福祉介護課長 本庁、各総合局、あんしん福祉センター、市民文化会館を予

定している。

問 現在の家庭相談員の体制について伺いたい。

答 子育て対策課長 現在は一人だが、相談内容に応じた対応をするため、二体制にしたい。

□衛生費

問 母子保健事業の詳細はどうか。

答 健康増進課長 妊婦検診の公費負担について、二回から五回に、一回六千円の助成を七月から実施したい。

及事業については、市内外を対象に甲州ワインの普及事業を行う予定である。メイソンは「ワインで乾杯」という事業で、十一月と二月にワイン協会が主催で、ぶどうの丘イベントホールにおいて、パネルディスカッションや甲州ワインのティステイキングなどを検討している。予算は一回二十万円である。

オソート油という物質が、平成十六年六月の厚生労働省通達により家庭用品としての使用が規制された。勝沼の駅前公園での使用も検討したが、今後規制が厳しくなったり、使用できなくなることも考えられるので、処分することとした。

問 枕木を現在敷いている所に対して規制がされるのか、方向性を伺いたい。

答 観光課長 例としてアスベストの撤去を考える

と、基準が厳しくなり除去作業が行われている。枕木についても、今後基準が厳しくなることも考えられる状況である。

市民フォーラム

テーマ「議会広報を 読んで」



広報誌の発行に感謝

木曾川 幸惠さん(勝沼町小佐毛)

市外から甲州市へと嫁いだ私にとって、広報誌は大変ありがたい存在です。甲州市に慣れたい、甲州市のことをもっと知りたがる焦る私に、広報誌は自らが形で知識を与えてくれました。新しく住むまちのことを知るには、通常それほどの時間がかかるものかと思ひますが、広報誌の存在によって、その時間が少からず短縮できている気になります。



市民の立場での作成を

三井 二雄さん(藤沼町墓山)

CATVのテレビとは異なり、広報誌は別の楽しみがある。それは、委員会審議の様子や、テレビを見ていても記録のできない数字や専門用語などが印刷物として見ると分かりやすいのである。それにしても編集委員が記事を書くと苦労だと編集の技術力には敬服する。記事の性格上、レイアウトには苦労するだろうが、見出しを含めて記事も読みやすく分かりやすい。欲を言わせていたら、「問」に対して「答」が不十分なときがある。専門用語には解説を欲しいし、可決した条例ではその内容を知りたい。市民の立場で書いて欲しい。



市民との付き懸け橋に

岡 はな子さん(梅山聰野)

年四回配られる「議会広報」、手元にくれば一応目を通す。難しい言葉、お役所言葉、数字の羅列など一般市民としては打ち解けにくい紙面である。しかしこれがこの広報の本分なのだから致しかたない」と、これをよくわきまえて、わたしたちは読むべきと考ふる。



地域の声を聴き努力を

橋田 金朝利さと（梅山春屋）

議会広報により、定期議会の状況や行政の考え方、方向性が良く分かるようになります。時代の変化を八十七年近く生きる中で感じ、所として、多くの人々と生活しています。塙山赤尾の地域にも、新しい道路の建設が進みます。近隣の人々や高齢者が住みやすい地域へと変わっています。私も多くのボランティア活動をする高齢者の仲間たちと、次代へつなぐ夢のある甲州市であつて欲しいと話しています。議会も行政もよく地域の人々の声や考え方を聞き入れて、今何がいいせつで、次代に何をつないでいくのか、しつかりと努力していきたいと思います。思ひ待ちています。

まちづくり シルクの土 五億六千万

問 土地開発公社が買うのではなく、市が直接必要な時期に買えば良いと思うがどうか。

な要素としてもシルクの確保は重要だと考えている。

地と建物の不動産鑑定では、消費税を含め六億五千二百六十万円で、本来は鑑定価格で購入するのが基本であるが、交渉を行った結果、五億六千万円ほどで話が煮詰まってきた。シルク側も、最大限の歩み寄りをしていたたいたと考へていて、平

が二億三千八百万円、東側駐車場が八千七百万円で、土地については鑑定価格だが、建物については、これから手を加えなければならない部分が多数あることを踏まえて、額にして九千一百六十万円、率にして二十九・六%減額していただいた。

■四月二十三日は、シルクの活用計画についてを議題とし、活用計画の作成を委託した山梨県建築設計監理事業協同組合から各階の活用方法、外回りの立面計画など、シルクの建物を本庁舎として活用した場合の計画の説明を受けた後、質疑を行いました。

答 総務企画部長 現庄
舍の耐震診断の結果からも、移転は急がなければならぬ。起債制限比率の目標比率のクリアーとともに、移転する場所を早急に確保することを考え合わせると、土地開発公社が先行取得をしていく方向にならざるを得ない。また、緊急避難的

答　総務企画部長　不動
産鑑定に基づいて取得することが前提であるが、少しでも財政負担が軽くなるよう交渉している状況である。

■五月二十一日に開催された委員会では、シルクの活用計画について説明を受けた後、質疑を行いました。

成十九年度に土地開発公社が先行取得を行い、平成二十年度に合併特例債を充当して市が買い戻し、平成二十一年度及び二十二年度に改修を予定している。

問 シルクに移転した場合、分散した部署が吸収できるということか。

一般質問

中村勝彦議員

甲州市での
分娩施設

A 産科存続に全力を上げて努力

問 甲州市での分娩について、現在の状況と今後の可能性を伺いたい。

答 市長 塩山市民病院での分娩中止の報道がされて以来、多くの皆様から分娩継続の要望をいただき、大変重く受け止めている。産科存続に対する全力を挙げて連絡している状況である。

問 ボランティア団体との協働、協調について、連

携はどうなっているのか。

答 市民生活部長 把握している市民活動団体は、十七団体あり、それぞれの分野で活動している。各団体との連携については、さまざまなかたちで支援、協力がされており、行政と市民活動団体が協働、協調しながら事業が進められている。

問 地域活動への関わりを、どのように推進しているか。

答 市民生活部長 行政にはさまざまなニーズに対応し、効果的、効率的なサービスの提供が求められており。民間活力は、行政運営には欠くことができないものであり、そのための住

るのか伺いたい。

答 市民生活部長 市民活動団体は、単なるイベントの手助けだけにとどまらず、計画立案から事業実施まで柔軟な発想で、多様化する市民ニーズに対応することができると思われる。

問 地域活動への関わりを、どのように推進しているか。

答 市民生活部長 行政にはさまざまなニーズに対応は自由すぎないか」等があつた。今後も改善に取り組み、接遇の向上を図っていく。

問 市長への手紙とホームページの掲示板についての対応はどうか。

答 総合政策課長 市政に関する意見をいただいたため、市長への手紙制度を十六の公共施設の窓口に配置している。また、市のホームページには市長へのコーナー

平成十九年甲州市議会六月定例会では、五人の議員が登壇し、市当局の考えをただしました。内容を要約してお伝えいたします。

市役所の窓口対応アンケート調査の内容は

民参加、協働の取り組みは重要であると考えている。

として、甲州市目安箱と表示されている。いたいた手紙やメールには、速やかな返事を心がけ、対応している。また、掲示板については緊急に検討している状況である。

問 機構改革により、序内の配置も変わり、いろいろな意見が出ている。どのような声を聞いているか。

答 総務企画部長 四月に組織機構の見直しを行つたが、見直しの中で不都合や不安を感じているという声を聞いている。窓口サービ

スについて、やさしくきめ細かくできるよう、今後検討していく。

問 甲州市は、合併後人口が減り続けている。住宅事情に問題はないか。

答 建設課長 市営住宅については全部で四十一棟、三百十三戸の管理を行つてある。未入居戸数は二十二戸人になる。

問 空き家バンクへの取り組みの現状はどうか。

答 市民生活課長 昨年十二月に甲州市空き家バンク制度を定め、体制づくりを行つた。七月の広報で登録希望者を募る記事を掲載し、周知を図つていきた



分娩継続の要望が寄せられている塩山市民病院。産科存続に向け、行政の積極的な取り組みを期待したい。

問 民間の活力をどのように考へておられるのか。

答 市民生活部長 行政

問 市長への手紙とホームページの掲示板についての対応はどうか。

答 総合政策課長 市政

問 空き家バンクへの取り組みの現状はどうか。

答 市民生活課長 昨年十二月に甲州市空き家バンク制度を定め、体制づくりを行つた。七月の広報で登録希望者を募る記事を掲載し、周知を図つていきた

一般質問

野尻陽子議員

A

行政改革一年目の成果と今後は

問 行政改革一年目の成
果と今後について伺いたい。

答 財政課長 行政改革の効果は、各年度における予算編成や執行において、改革の理念を取り入れることにより効果が發揮される。平成十九年度に反映された具体的な金額は、人件費で二千七百三十二万円、物件費で一億三千七百七十二万円、補助費等で六千九百五十七万円、総額二億三千四百六十万円が削減されている。

問 行財政改革の目標、五カ年で三十億円削減の計画目標について伺いたい。

答 総合政策課長 集中改革プランによりスリム化を図る一方で、住民サービス、市民福祉の向上を図る予算を使うことも必要であり、五カ年での削減目標に対し、発展的な行政運営をしていく取り組みである。

問 下水道会計について、下水道事業が何年に完成し、その総額、カバーする戸数

美しい地域づくりのための道路整備を

問 道路整備について、駅南口の道路、旧塩山高校前道路、焼却場の裏から北への農道の予算等を含めた状況を伺いたい。

答 都市整備課長 塩山駅前通りの街路、上於曾駅前赤尾線は、県事業として

問 海外の友好都市との交流について、市が補助するのは子どもたちに限ると提言したいがどうか。

答 市長 時代の要望や住民のニーズに応え、道路は整備されてきたと考えている。

問 市長交際費について、減額できないか伺いたい。

答 市長 社会通念上妥当と思われる範囲内だけは支出しているが、財政が厳しい状況であり、できるだけ抑えていきたい。

はどのくらいなのか、事業計画を伺いたい。

問 國土交通省なども、市町村管理型合併浄化槽の普及も考えられるとの見解

答 建設部長 合併前からそれぞれの市町村単位で実施しているが、旧塩山市は昭和五十四年から、旧勝沼町は昭和六十三年から実施している。事業規模は、

塩山地域が九百七十八戸で計画処理人口が一万六千七百五十人、勝沼地域は四百四十六で九千百七十人である。事業費用は、概算総事業費が約四百五十億円で、国庫補助事業として補助率二分の一である。平成十七年度までの実績は、計画面積一千四百二十二戸、百六十億円であり、未整備面積九百五戸について二百八十

八億円の事業費が見込まれている。また旧大和村は、特定環境保全公共下水道として、平成十六年度にほぼ全域の整備が終わっており、事業規模は四十九戸で処理人口が千九百人、事業費は四十三億円である。

問 市長交際費について、減額できないか伺いたい。

答 市長 社会通念上妥当と思われる範囲内だけは



下水道整備が進む塩山地域。今後は合併浄化槽の普及の検討も期待したい。

一般質問

曾根益彦議員

Q

塩山バイパスから
国道四百十一号

道路の進行状況は

平成二十二年度の完成を予定



県道塩山勝沼線と県道休憩勝沼線をつなぐ、市道の直進化はどうか。

問 市道下於曾四十一号線の塩山バイパスから、国道四百十一号までの道路の進行状況は。

答 建設課長 塩山市民病院東側交差点から国道四百十一号までの一工区が平成二十二年までに、国道四百十一号から東バイパスまでの二工区は、平成二十七年の完成予定である。

答 市長 強力に県に要望していきたい。

問 塩山高校西側を南北に走る緊急畠総事業の農道の一部未着工部分と全体の完成の見通しは。

答 農業土木課長 一部未着工部分については、用地買収が三月末に終了したが、現在早期完成を県に努力してもらっている。

問 緊急畠総事業の農道と市道上井尻三十号線との直結化の計画はどうか。

答 建設課長 上井尻三丁号線との接続については、緊急畠総事業の農道の供用開始後の利用状況を確認しながら検討していきたい。

問 道路沿いの高く積まれた荷物等、災害時に市民に傷害をきたす場合も予想されるものに対する考えは。

答 総務課長 広報等を通じて注意を促し、地域の安全が図られるよう理解を求めていきたい。

問 四月から塩山警察署が分署化されたが、交番要員の配置、パトロール等について強化されているか。

答 総務課長 統合前と変わりなく行っており、交番については一人増員し、強化したとのことである。

問 消防法の改正により一般住宅にも火災報知機の設置が義務付けられたが、高齢者や弱者等に対しても対応できないか、研究し

答 環境課長 エネルギー資源の有効活用として、果樹選定枝や間伐材等のバ

答 建設課長 上井尻三丁号線との接続については、緊急畠総事業の農道の供用開始後の利用状況を確認しながら検討していきたい。

問 地域住民によるワーキングショップで、農業と地域の活性化を考えみてはどうか。

答 農林商工課長 ワーキングショップは、住民の自発的な取組みと創造的な参画が求められる。事業実施の過程で研究していきたい。

問 新エネルギービジョン等についての考えは。

答 環境課長 本市の自然特性や果樹栽培及びワイン製造の過程で植物残渣が発生するので、エネルギー資源として活用できるか、検討していきたい。

問 果樹選定枝等の活用の見通しと計画は。

答 環境課長 参加人員は七千八百四十人で、ゴミの量は前年と比較して二、二割減少した。

問 環境美化条例制定についての考えは。

答 環境課長 空き缶等の散乱防止及び回収に関する条例及び、飼い犬等飼育管理条例で定めてあるが、環境美化意識の高揚に努め

ていただきたい。
カメラの設置が増えているが、市として犯罪

防犯の取り組みについて、検討していきたい。

問 新型交付税について、国に対して増額の要望を

置の現況は。

答 総務課長 市として設置はしていないが、プライバシー侵害の恐れも指摘されているので、慎重に研究していきたい。

問 地域住民によるワーキングショップで、農業と地域の活性化を考えみてはどうか。

答 環境課長 丹波山村との合併について、市長の考えは。

問 丹波山村の動向を見守るべきだと考へている。

答 市長 丹波山村の動向を見守るべきだと考へておるが、何が何でもこのままでは困ります。

問 四月に塩山地域の河川清掃における参加人員、ゴミの量等は改善されているか伺いたい。

答 環境課長 参加人員は七千八百四十人で、ゴミの量は前年と比較して二、二割減少した。

問 環境美化条例制定についての考えは。

答 環境課長 空き缶等の散乱防止及び回収に関する条例及び、飼い犬等飼育管理条例で定めてあるが、環境美化意識の高揚に努め

一般質問

矢野義典議員

Q

医療費の小学校六年生まで無料化を

A 厳しい財政状況を踏まえ検討

未満となる見込みである。

問 子育て支援のより一層の充実を図るため、医療費の無料化を小学校六年生まで拡大すべきと思うが考え方を伺いたい。

答 子育て対策課長 県の補助対象年齢要件が通院

は五歳誕生日月までだが、本市では六歳の誕生日を迎えた最初の年度末までと拡大しており、入院時の食事療養費は本市単独で助成を行っている。厳しい財政状況を踏まえながら、今後検討していきたい。

問 小学校に農業科を導入すべきと思うがどうか。

答 学校教育課長 学習指導要領に示されていないため、難しい課題であるが、検討していきたい。

問 本市の実質公債費比率の推移を伺いたい。

答 財政課長 公債費負担適正化計画を策定し、平成十九年度には十九・八%となる見込みで、平成二十四年度には、目標の十八・

問 平成十九年度は、本市に三億四千万円が税源移譲された。これを、特に住民福祉に配慮した思いやりのある活用を考えるがどうか。

答 財政課長 国庫負担金改革により、所得税から個人住民税へ税源移譲が行われたが、収支増はそのまま基準財政収入額に算入されため、地方交付税が減少することになる。引き続き創意工夫を行い、市民福祉の向上に努めていきたい。

問 政改革推進本部での評価に

向けて、整理をしている状況である。

問 日常的で簡易な業務を一ヵ所の窓口で相談できる、ワンストップサービス

体制についての現況は。

答 総合政策課長 担当

課レベルでの研究、検討が進められており、平成十九年度から取り組むことになつている。

問 分別によるごみ分別による

処理量の削減を

問 甲州市集中改革プランの中に、事業仕分けが取り入れられ、平成二十年度実施、方針決定に向けて検討されていると思うが、進行状況を伺いたい。

答 環境課長 平成十八年度の有価物回収量は、二千百三十二㌧であり、前年

答 環境課長 平成十八年度と比べ百七十七㌧の増で

ある。可燃ごみ処理量は八千四百八十九㌧で、三市町

村の合計処理量が最大であつた平成十五年度に比べ、

二千三百八十三
よ、約二十二割
の減少である。

問 各種イベントの見直しについて伺いたい。

答 総合政策課長

課長 ぶどうまつりは、秋のイベン

トの中核として継続し、大菩薩峠登山競走大会と

ぶどう郷マラソン大会は開催時期、コース、大会名称等

を見直したい。また、ふるさと武田勝頼公祭りとおよつ

ちよい祭りの統合の可能性

については、観光課を中心

協議を進めていきたい。

問 学校給食共同調理方

式の検討に、民間委託も含

まれるのか伺いたい。

答 教育長 当分の間、現行で進む予定だが、今後は民間委託も含め、検討していきたい。

問 指定管理者制度導入後の市民サービスの向上について伺いたい。

答 総合政策課長

課長 ぶどうまつりは、秋のイベン

トの中核として継続し、大菩薩峠登山競走大会と

ぶどう郷マラソン大会は開

催時期、コース、大会名称等

を見直したい。また、ふるさ

と武田勝頼公祭りとおよつ

ちよい祭りの統合の可能性

については、観光課を中心

協議を進めていきたい。

問 将来の市町村合併についての考えは。

答 市長 今回の合併に

至る経緯や歴史的な背景を

考慮すると、県の山梨市と

の合併構想に、笛吹市等を

入れて、本市の将来を考えるべきである。



本市では国保世帯を対象に窓口無料化を実施。さらなる子育て支援対策として拡大が望まれている。

わたしのふるさと

④

雪の「かまくら」で知られる我が故郷

秋田県横手市大森町



米山 萩應さん(大和町田野)

雪の「かまくら」で全国的に知られる我が故郷は、秋田県の南部、奥羽山脈と出羽丘陵に囲まれた地域です。この横手盆地の中央部先年の合併で、旧平鹿郡内の五町村と一市が一緒になつた横手市の西端に位置する旧大森町です。町の七割が西部の出羽川、大納川沿いに平坦で肥沃な水田が開け、稲作を中心とした農業と一部果樹と野菜等も栽培している純農村地帯です。森が深く水がきれいで、山菜等も多く取れ、夏は雄物川の流れで遊び、魚取りやホタル狩り、秋には木の実や栗の実拾い、冬は「ほんてん」「かまくら」等の伝統行事、雪の中でのスキー・ソリ遊びなど、四季それぞれに大自然で過ごした幼少期が懐かしく思い出される故郷です。



こちら編集室

■ 历の上では一週間後には秋になりますが、まだまだ暑い日が続きます。睡眠不足や水分の取り過ぎなどで夏バテしないよう健康管理には十分注意したいものであります。■さて、今号から編集委員の約半数の顔ぶれが変わりました。委員会レポートや一般質問の編集、市民の皆様への原稿依頼、また本会議終了後三回開催される委員会での企画、校正など、委員自身が行う慣れない作業が続くわけですが、それ以上の議会広報を目指します。

■傍聴席入口で受付簿に氏名、住所を記入し入場していただきます。日程などについては、定例会前の議会運営委員会で決定しますので、決まりしだい市議会ホームページなどでも案内します。なお、ご不明な点については、議会事務局までお問い合わせください。■(三二)一一一 内線三〇一一

■ 議会も議長をはじめ、各常任委員長などが交代

しリフレッシュしました。

■さて、甲州市実現に向か、議

会と行政が互いに切磋琢磨していかなければなりません。

■議論を通じて、この議会広報を磨いていきます。(武)

有料広告

甲州市の天然水 水素還元力



独自の技術で水素を溶かしこんだ活性酸素を消去する還元力アップの水です

体にやさしい 水素水

お問い合わせは

株式会社 B M D 塩山工場

甲州市塩山三日市場1900-1

お客様相談室 0120-422-452

<http://www.ewater.jp>